

### 配当金のお支払いについてのご案内

第100期期末配当金は、次のいずれかの方法により、2018年6月27日(水)からお支払い申し上げます。

#### ■口座振込にてお受け取りの株主様

「配当金計算書」および「お振込先について」を同封していますので、ご確認ください。

#### ■株式数比例配分方式をご指定の株主様

「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しています。また、源泉徴収税額計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類は、お取引の証券会社等へご確認ください。

#### ■配当金領収証によりお受け取りの株主様

同封の「第100期期末配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の上、最寄りのゆうちょ銀行本支店・出張所および郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2018年6月27日(水)~2018年7月31日(火))にお受け取りください。なお、同封の「配当金計算書」は、配当金をお受け取り後の配当金額のご確認や確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

#### ■次回より口座振込をご希望の場合

証券会社等に口座をお持ちの株主様はお取引の証券会社等にて、特別口座の株主様はみずほ信託銀行にて、それぞれお手続きください。

### 株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券口座に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵 送 物 送 付 先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電 話 お 問 合 せ 先		フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取扱い(住所変更、配当金受け取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●みずほ証券 本店および全国各支店 (プラネットブースでもお取り扱いいたします)</li> <li>●みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。</li> </ul>
未 払 配 当 金 の お 支 払 い	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支 払 明 細 の 発 行	みずほ信託銀行 証券代行部(フリーダイヤル 0120-288-324)にご相談ください。	

#### 単元未満株式をお持ちの株主様へのご案内

- 単元未満株式は市場で売買できません。買取・買増については、お取引の証券会社等にご相談ください。
- 特別口座にある株式の買取・買増については、みずほ信託銀行にご相談ください。  
(特別口座では単元株の売買ができないため、売買をご希望の方は、証券会社に口座を開設し株式を振り替えていただく必要があります)

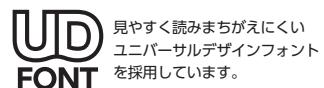


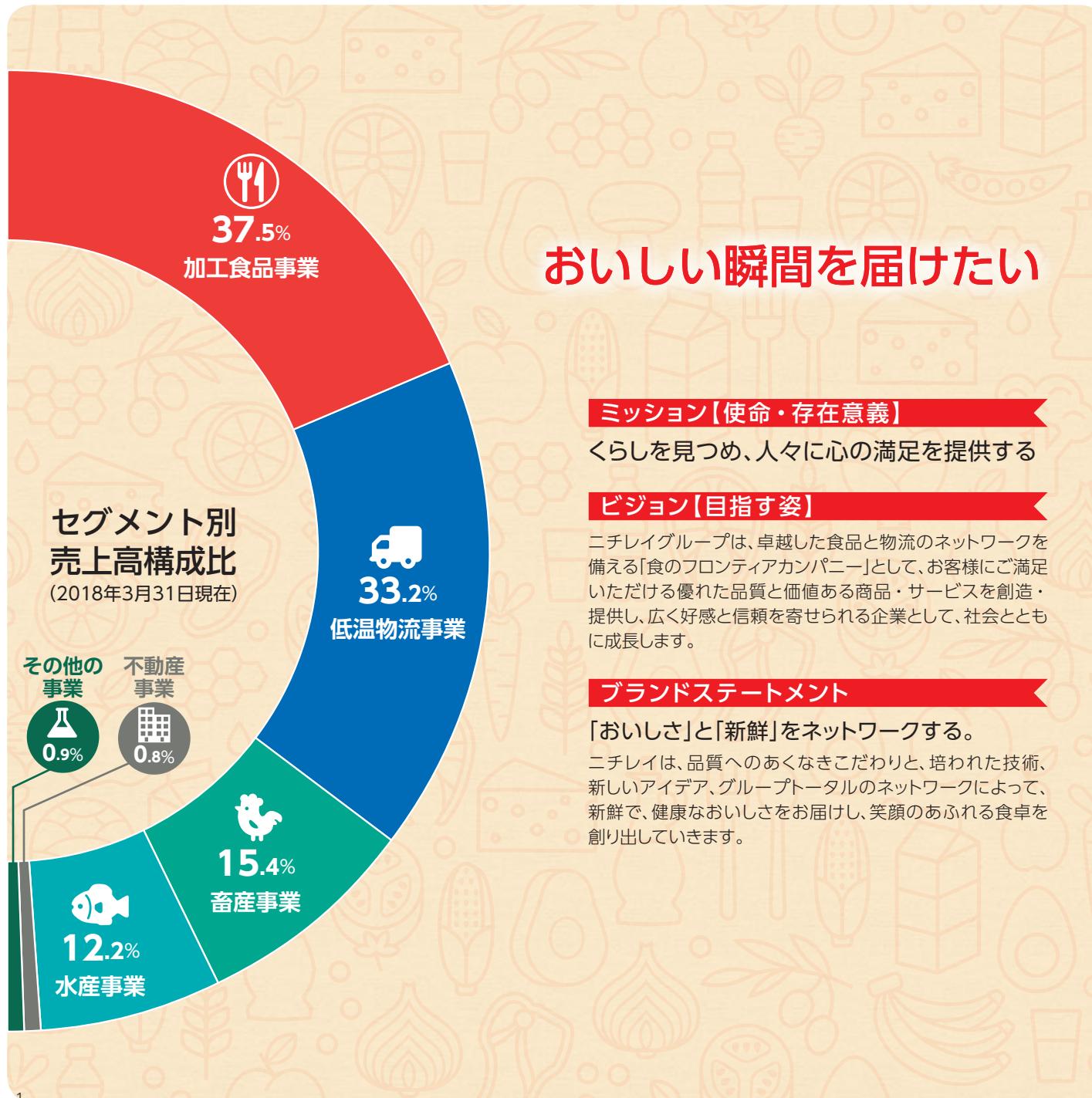
Vol.40

第100期 グループ報告書  
2017年4月1日~2018年3月31日



©Akihiro Nakamura





## おいしい瞬間を届けたい

### ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する

### ビジョン【目指す姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。

### ブランドステートメント

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループトータルネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

## 株主の皆様へ

### 持続的な成長に向けて

第100期グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に厚く御礼申し上げます。

当期のわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境が改善するなか、緩やかな景気の拡大が持続しました。海外においては、国際情勢に不安定さが増す一方で、先進国を中心に経済は総じて堅調に推移しました。

食品業界におきましては、消費者の低価格志向が強まる一方、食へのニーズが益々多様化し、簡便調理品や健康訴求品の市場が拡大しました。また、食品物流業界におきましては、労働力不足が深刻化するなか、各企業は省人化のための技術開発や機器導入を推進しています。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「POWER UP 2018」(2016年度～2018年度)の二年目を迎え、主力である加工食品事業と低温物流事業を中心に、成長と事業基盤強化のための設備投資を実施するなど、持続的な利益成長と資本効率の向上に向けた施策に取り組みました。また、グループCSR基本方針として新たに制定した「ニチレイの約束」に基づき、「安全な商品とサービスの提供」「持続可能なサプライチェーンの構築」をはじめとする重要課題へも継続して対処してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

大谷 邦夫

2018年6月吉日



代表取締役社長  
大谷 邦夫

# トップインタビュー

グループ中期経営計画「POWER UP 2018」  
(2016年度～2018年度)の  
最終年度となる2018年度に向けての思いなどを  
大谷邦夫社長に聞きました。



Q1

2017年度業績は前期比で増収、増益と引き続き好調です。中期経営計画POWER UP2018の二年目として手応えはどうでしたか。

A1

3カ年計画POWER UP 2018の二年目は、初年度同様、順調に推移したと思います。各セグメントとも課題を明確にし、対応策を堅実に遂行するなか、特にコア事業の加工食品事業の利益率が伸長しました。従来、利益のベースになってきた低温物流事業、不動産事業も計画通り推移しています。水産・畜産事業を行うニチレイフレッシュも初年度は好調でした。二年目は水産事業で、主要商品であるエビの相場高騰などもあり利益確保に苦戦しましたが、市況変動への対応や競争力のある商材の確保という経営課題については着実に進捗していると思います。ニチレイバイオサイエンスは、研究・生産拠点の移転に伴い、今後コストも発生しますが、順調に成長しています。

Q2

中期経営計画の柱は、「持続的な利益成長と資本効率の向上」「規模拡大を追求する海外事業」でした。最終年度に向けての状況は？

A2

国内事業の方針は、資本効率を意識しながらの利益成長です。今後、外部環境が大きく変わることはあり得るものの各事業とも変化への対応力がついており、計画期間を通して、国内事業の利益成長という目標は達成できると思います。一方、海外事業は、事業規模を拡大していかなければなりません。スピード感が若干足りないと思っています。投資計画について案件はいろいろありますが、こうした案件を強力に実行していく人材の育成が課題です。海外市場を攻略するために、主体的に行動し、なにごとにも果敢に挑戦する人材を育成する環境を作っていきたいと思っています。

Q3

順調な業績の成長は、市場の潮流に乗っているということでしょうか？

A3

冷凍食品に対するニーズが多様化し、市場も拡大しています。長期的なトレンドでは日本の人口は減りますから、当然、物理的な食事量としては減ってくるでしょう。ですが足元では、単身者、高齢者、夫婦二人といった世帯の増加と相まって、便利ですぐに食べられ、かつ本格的という特質を持った冷凍食品の利用者が増えてきています。基本的に消費財の需要については人口数も大事ですが、それぞれの世帯がどう動くかで、かなりマーケットの様相が違ってきます。加工食品事業では、マーケットを細かくセグメントして、その中で売れ筋の商品カテゴリーに集中的に経営資源を投入し、供給力を上げながら増加する需要に対応してきました。あわせてマーケットをにらんだ広告宣伝や販売促進を行い、大幅な売上増加につながりました。市場分析、販売促進・広告宣伝の実施、生活者の認知拡大、冷凍食品利用者の拡大、といった循環ができています。今まで冷凍食品を使わなかった方々も一度使ってみると、便利さとおいしさに共感し、リピートしてくれるようになります。

Q4

もう一つの柱である低温物流事業はどうでしょう。

A4

ニチレイロジグループは、低温帯域の食品物流事業を行っています。ここ数年で新設した関西の

さきしま  
咲洲物流センター、首都圏の東扇島物流センターも含め、全体的に保管事業が堅調に推移しました。輸配送を中心に、顧客の物流システム全体を改善する物流ネットワーク事業も好調です。国内外で資金力をベースに計画的な設備更新を進めていることは1つのポイントになります。物流ニーズが拡大するなか、物流品質への要求も年々高まっています。こうした変化に確実に応えていくためにも、物流センターの整備は欠かせません。

また、私どもの低温物流ネットワークは言わば社会インフラですので、災害などを念頭に置いた事業継続計画も進めています。免震・耐震性能の向上、温暖化防止に向けたフロン対応、情報システムの安全性向上も積極的に実施しています。従業員も食品の物流を止めてはならないということを経営的な使命として強く意識しています。



**Q5** 順調な事業成長ですが、中長期的なリスクについてはどう考えていますか。

**A5** 労働力不足が顕著になってきています。物流センターや食品工場では、省力化・省人化、業務革新といった対応を始めていますが、すぐに解決できるわけではありません。それに中長期的に見れば、人材こそが競争力の源泉ですから、ニチレイグループを「働きたい会社」にしていきたいと思っています。「働きたい会社」というのは、職場環境、企業風土が安全・安心で、中で働いている人がお互い信頼感を持って働ける職場であること。これが働きやすさにつながります。さらに、働きがいのある組織をどう作っていくか。事業に貢献でき、それによって自分が達成感を持てる。その2つが相まって働きたい会社になるのだらうと思います。



そういう風土づくりを進めるため、事業会社の社長たちも、年度ごとに各地域を回って自分のメッセージを伝えていきます。そもそも従業員満足が高くなければ顧客満足の向上も達成できない、と思います。定期的にも実施している従業員満足度調査の結果を見て、トレンドとして、本当にいい組織集団になっているのか、そうでないのか検証しています。結果を踏まえた上できちんと組織づくりをしていかなければなりません。

こうした取り組みは、CSR基本方針「ニチレイの約束」に掲げている「働きがいの向上」のみならず「持続可能なサプライチェーンの構築」にもつながっていくと考えています。もっともこちらの課題は私たちだけでなく、サプライチェーンの各段階にあるステークホルダーにも加わっていただき、みんなで真剣に取り組んでいかなければなりません。

**Q6** リスクを低減していくためには企業統治(=コーポレートガバナンス)ということも重要になると思いますが、どのような特長がありますか。

**A6** 本当に透明性の高い経営を進めようというのが基本的な考えです。制度面では当社は監査役設置会社で、監査役5名の内過半数に当たる3名が社外監査役です。取締役会も過去の早い時期から社外取締役3名の体制にしています。直近ではそのうち2名が女性です。社外役員の方々は見識・専門性の高い方ばかりなので、コーポレートガバナンス

という点については、透明性の高い経営が実践できていると自負しています。取締役の多様性も話題になりますが、現状、年齢構成としては幅がありますし、女性も2名いらっしゃいます。意識せず自然に多様性を求めて変えていけばいいのかなと思っています。

**Q7** 今後のニチレイグループの方向性を教えてください。

**A7** 当社グループは、人々の生活の支えとなる食に関する事業を営んでいるので「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というグループミッションが非常に重要です。このミッションが意味するところは、私たちの事業のどんな領域でも、人々の「暮らしを見つめる」ことが原点だ、ということです。人々が生きている姿をきちんとつかみ、これに対して私たちニチレイグループが求められる食品を提供し、流通を支える。人々に、ものを食べて満足するというだけではなく、精神面での満足も提供しようというのが大切なミッションです。自分たちのやっている事業が必ずこのミッションにつながっていると理解できれば、事業の価値は十分わかるはずですし、ミッションに則って事業展開していけば、必然的に社会からも理解されて、適正な利益は得られると思いますし、得るべきだと思います。その適正な利益から自分たちのやりたいことをさらに展開するために投資していくのです。私たちが「暮らしを見つめ」、生み出した新たな



サービスが世界中に広がっていけば、世界の人々の「心の満足」につながりますよね。

**Q8** 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A8** 株主の皆様から経営資源を提供していただいていますので、そのことは常に意識しています。期ごとの利益水準による変動を避け、内部成長も考慮した上で、安定的な配当を実現していきたいと考えます。「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というグループミッションを基本として、価値創造に取り組んでまいりますので、皆様も温かい目で私どもを見つけていただければと思います。引き続き温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 国内No.1の地位確立に向け、 高品質な物流サービスを追求していきます。

多彩な低温物流サービスで生活者の「食」を支えるニチレイロジグループ。  
多機能型物流センターの新設や積極的な海外展開などにより、着実に事業を拡大しています。  
この春、トップに就任した梅澤一彦社長に、これからの経営方針について聞きました。



株式会社ニチレイロジグループ本社 代表取締役社長  
梅澤一彦



うめざわ・かずひこ / 1966年、東京都生まれ。88年、株式会社ニチレイ入社。株式会社ロジスティクス・ネットワーク常務執行役員、株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海やニチレイ・ロジスティクス関西の代表取締役社長を経て、2017年ニチレイロジグループ本社取締役常務執行役員。18年4月から現職。

### Q どんな会社を目指していきますか？

ニチレイロジグループは、国内No.1の低温物流拠点網と全国を網羅する輸配送ネットワークによりコールドチェーン全体をカバーし、今や「国内食品低温物流事業者No.1」を標榜できるまでになりました。これからは、売り上げや設備能力といった面だけでなく、物流品質の高さや先進性、お客様に提供するサービスの卓越性といった面においてもNo.1と認められる会社を目指します。

### Q 「物流品質の高さ」とは？

お客様が預かりした商品を、状態を保持して保管したり、時間通りにお届けすることは基本ですが、私たちに求められている品質はそれだけではありません。単にモノをお預かりしてお届けすることだけでなく、例えばお客様の物流

自体を見直すことで物流コストの削減や、環境負荷の軽減などを図り、物流を通じてお客様の経営課題の解決にいかんにか貢献できるかが重要です。

当社が持つ幅広い事業領域を生かし、顧客起点で物流ソリューションを包括的に提案ができる点が、ニチレイロジグループの強みだと思います。

### Q 「業務革新」を推進していますが、その目的は？

社長就任前から、業務革新推進部長として物流現場の「業務革新」に取り組んできました。効率化や省人化といった成果はもちろん求めています。ES(従業員満足度)や働きがいの向上が最終的な目的です。物流はチームワークで成り立つサービス業ですので、人材が最も大切。24時間365日体制で稼働する物流現場において、従業員が仕事を通じて日々の充実と成長を感じ、それぞれの

持ち味を最大限に活かせるような環境を整えることが私の使命だと考えています。そのために、あらゆるものがネットにつながるIoT技術や人工知能(AI)などを活用して業務のストレスフリー化を図ったり、働き方の自由度を高めたりすることで、働く人たちの心と時間の余裕を創出したい。それが、サービスの向上や付加価値につながるはずなんです。

### Q 女性活躍についてはどう考えますか？

海外出張にいくと、物流現場の中心となって活躍している女性が多いことに驚きます。その点では日本はまだまだ遅れていると感じますが、当社では女性活躍推進のための勉強会「咲かセル ロジ女フォーラム」を開催するなど、より幅広い分野でのキャリアアップを後押ししています。一方で、女性に限らず、ワークライフバランスを尊重した多様な働き方ができることも大切です。前述の業務革新では、これまでは熟練スタッフの経験に頼っていたような業務をデジタル化し、データを活用することで、性別や経験を問わず、誰もが活躍できる職場づくりを進めています。

### Q グローバル展開で注力する点は？

国内事業で培ったハイスペックな物流ノウハウは、海外でも高い評価をいただいています。具体的には、アジアとヨーロッパ、この2つのマーケットで成長を牽引していきたいと考えています。今年4月にはマレーシアの低温物流事業に参入。アセアンにおける低温物流事業の拡大に向けた足がかりとしていきます。

### Q 経営者として大切にしていることはありますか？

軸をぶらさないこと、公平であることです。組織運営を考えるうえでは、趣味の囲碁からヒントを得た2つの考え方を常に意識しています。1つは、「着眼大局、着手小局」。大きな視野で全体を俯瞰し、戦略を練り、小さいことから着実に実践するという意味です。もう1つは、複眼的に物事を考えること。私たちニチレイロジグループの事業は、なくてはならない社会インフラである一方で、エネルギー消費などの環境問題にも配慮していかなければなりません。これからも、社会や環境と折り合いをつけながら、謙虚に、着実に成長していきたいと考えています。





## 「本格炒め炒飯®」新CMスタート

(株)ニチレイフーズは、さらに美味しくパワーアップした『本格炒め炒飯®』の新テレビCMを放送しています。

『本格炒め炒飯®』は、電子レンジで誰でも簡単に調理できる、本格的な美味しさが特長の炒飯です。発売以来、冷凍米飯売り上げ(\*)で17年連続No.1を獲得し、大変ご好評をいただいています。この春は、パラパラ感はそのままだに、自社製焼豚が「味付け」「大きさ」「量」の3つの点で進化。従来品より20%増量した、ゴロゴロ焼豚でさらに魅力的な炒飯に生まれ変わりました。

今回のCMでは俳優の鈴木亮平さんが応援団長に扮して、「ヤキヤキブタブタ〜♪」と印象的な音楽と愉快的な踊りを組合せながらパラパラ感とゴロゴロ感が相まった美味しさを伝えていますので是非ご覧ください。

※冷凍調理・炒飯カテゴリー販売全額(累計)インテージSRI(2001年3月~2018年2月)



## 2018年春季新商品 「切れてる! サラダチキン」



2017年3月の発売以来、食卓の主役になれる唐揚げ商品として大変ご好評をいただいている「特から」は、チキン市場をけん引しました。

ニチレイフーズでは、このチキン市場での新たな提案として料理素材「切れてる! サラダチキン」を発売しました。

「切れてる! サラダチキン」は、鶏むね肉を柔らかくしっとり蒸し上げてスライスし、素朴な味付けに仕上げました。料理素材としてもそのままおつまみとしてもお使いいただけます。

ちゃんと家事をやりたけれど時間が足りない。手間をかけずに家事はサッと済ませたい。共働き世帯が増加する中、そんな思いを抱える人にもオススメです。

### 「切れてる! サラダチキン」4つの特長

1 切れている!  
まな板・包丁いらずで  
とてもラクラク!

2 ジッパー付で保存が簡単!  
好きな量だけ使えて大変便利

3 シンプルでやさしい味付け!  
どんな料理にもそのまま使える  
サラダにもピッタリ、  
自然解凍もOK!

4 QRコードで  
レシピ検索ができる!  
何を作ろうか迷ったら  
簡単アレンジレシピで検索!



多彩なレシピで  
食卓を応援!





ニチレイフレッシュ

岩手県で国産鶏肉「オメガバランスチキン®」の生産をスタート

(株)ニチレイフレッシュの子会社である(株)ニチレイフレッシュファームは、岩手県九戸郡ひらのちよう洋野町に新たな養鶏場を建設し、国産鶏肉「オメガバランスチキン®」を生産する養鶏を3月16日より開始いたしました。

「オメガバランスチキン®」は、α-リノレン酸を多く含む亜麻仁油脂を配合した飼料で鶏を飼育することで脂肪組織中のオメガ6系脂肪酸に対するオメガ3系脂肪酸の比率を高めた、ニチレイ

フレッシュが独自に開発した鶏肉です。

2017年にタイで「オメガバランスチキン®」の開発に成功・調達しておりましたが、このたび国内で生産・供給できる体制を構築いたしました。

新たに建設した養鶏農場はうげ有家農場という名称で、年間43万羽の出荷を予定しています。

有家農場の新設により、自社養鶏による生産・調達をさらに拡大し、国産チキンの事業基盤を強化してまいります。

? 「オメガ3系脂肪酸」とは

人の体を支える重要な栄養素である脂肪酸。特に体内で作ることができない必須脂肪酸であり、オメガ3系脂肪酸をバランスよく摂取することはとても重要です。今までは主に青魚(いわし、まぐろ、さば)などからオメガ3系脂肪酸を摂取していましたが、食における魚離れのため、現代の日本人には不足しがちと考えられる脂肪酸です。



オメガ3系脂肪酸を多く含む亜麻仁の花と種子

(株)食品産業新聞社主催  
「食品産業技術功労賞」  
(マーケティング部門)にて  
優秀賞受賞

2017年11月8日、(株)食品産業新聞社主催の第47回食品産業技術功労賞において、弊社の『グッドバランス』ミートが食肉の健康価値を創造したことが評価され、優秀賞を受賞いたしました。





## 平和島物流センター稼動

2018年3月1日、(株)ニチレイ・ロジスティクス関東は、東京団地冷蔵(株)(東京都大田区)内に平和島物流センターを稼動致しました。

輸入貨物の玄関港である東京港湾地区では、近年、輸入加工食品や原料品の取り扱いが増加し、物流の高度化と効率化が求められています。

平和島物流センターは、日本最大の消費市場である首都圏において38,000トンの冷蔵設備能力を有し、旺盛な保管需要に柔軟に対応していきます。

また、物流上重要なインフラである大井ふ頭や羽田空港に隣接し、主要幹線道路へのアクセスも良く、物流の効率化にも貢献していきます。

最先端の地震対策を整え安全性を確保するとともに、作業面では検品用のタブレットを始めとする機器の導入による業務効率化も進められています。東京港湾地区におけるニチレイロジグループの各拠点とも連携し、付加価値の高い物流サービスの提供を目指してまいります。

### 平和島物流センターの概要

- 所在地：  
東京都大田区平和島6-2-1
- 構造：地上6階建  
ハイブリッド免震システム：  
免震構造  
(シミズ)RCSS構法：  
耐震構造
- 設備能力：38,000トン  
(F級冷蔵庫 31,069トン、  
FC級冷蔵庫 6,931トン)
- 顔認証セキュリティシステム、  
移動ラック、高周波解凍機、  
凍結室、陽圧システム完備
- 接車バース：21基



## BCP(事業継続計画)にもとづく「物流基幹システム」の対応強化

ニチレイロジグループは、大規模災害に備えたリスクマネジメントの取組みの一環として、2018年2月18日より、BCP(Business Continuity Plan)にもとづく「物流基幹システム」の対応強化を実施しました。

BCPとは、「事業継続計画」のことで、災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないよう対策を取ることです。万一事業活動が中断した場合でも、情報システムを素早く再開させ、損害の発生を最小限に留めることが必要です。

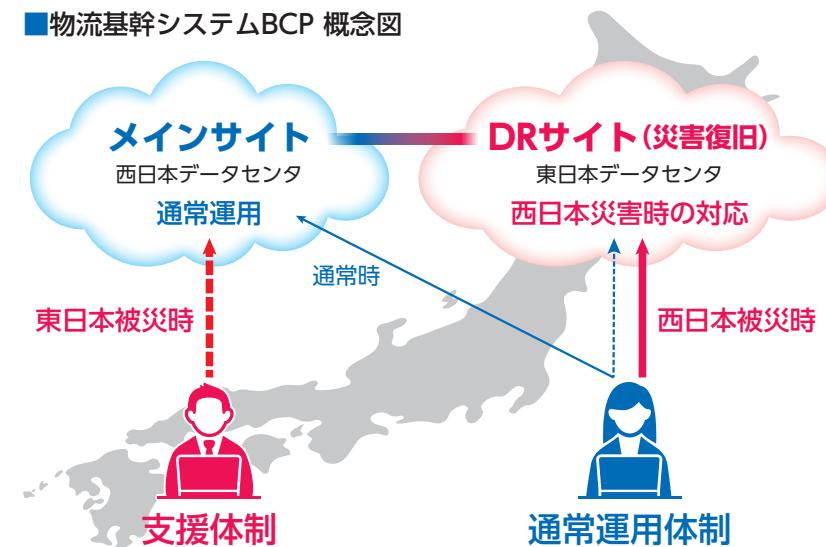
ニチレイロジグループは、物流基幹システムの

メインサイトを西日本に置き、首都圏における大規模災害に備えるとともに、西日本での被災時には、東日本のDRサイト\*に切り替える「2拠点化」を実施しました。さらに、最新の「クラウドサービス」を採用し、速やかに全国の業務システムを復旧する体制を構築しています。

社会にとって不可欠な最重要インフラである食品物流を担う企業として、システム面もふくめて持続可能な物流サービスを提供してまいります。

\* DR(Disaster Recovery災害復旧)に対応したシステムを用意し、ほぼリアルタイムにデータ更新を行います。

### 物流基幹システムBCP 概念図



## 東京証券取引所が実施する 「第6回企業価値向上表彰」において、優秀賞を受賞

「企業価値向上表彰」は、高い企業価値の向上を実現している上場会社のうち、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践している上場会社を表彰する制度です。

㈱ニチレイは、資本コストを織り込んだ独自の経理指標の活用などにより、「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

今後も環境変化に迅速に対応するとともに、経営力を一層高め、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。



## 本社ビルに企業内保育所を開設

㈱ニチレイは、東京都中央区築地の本社ビル内に企業内保育所を開設しました。

ニチレイグループが現在進めている働き方改革の施策の一つとして、子育て中の従業員の早期復職や仕事と家庭の両立を支援することを目的としています。また 地域の方にも開放することで待機児童状況の緩和に貢献致します。



### <保育所の概要>

- 名称：MIRAlterrace(みらいてらす) ■ 所在地：東京都中央区築地6-19-20 ニチレイ東銀座ビル2階
- 開設日：2018年4月1日 ■ 開所時間：月曜日～土曜日 7:30～20:30(年末年始を除く)
- 対象年齢：月ぎめ保育 0歳児(生後57日)～2歳児まで  
一時保育 0歳児(生後57日)～5歳児まで(定員に空きがあった場合のみ実施)
- 定員：32名(0歳児6名、1歳児12名、2歳児14名)
- 設置者：株式会社ニチレイ ■ 運営受託会社：HITOWAキッズライフ株式会社

## 連結決算ハイライト

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 連結貸借対照表(要旨)

2018年3月31日現在

(単位:百万円)

区 分	金 額
流動資産	155,881
固定資産	212,794
<b>資産合計</b>	<b>368,675</b>
流動負債	110,490
固定負債	88,504
<b>負債合計</b>	<b>198,995</b>
株主資本	147,002
その他の包括利益累計額	15,726
非支配株主持分	6,951
<b>純資産合計</b>	<b>169,680</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>368,675</b>
設備投資等の金額*	24,952
有利子負債 (リース債務除く)	97,745 (79,844)
<b>1株当たり純資産額</b>	<b>1,221円4銭</b>

\*設備投資等の金額は、有形固定資産および無形固定資産に係る投資額の合計金額です。

### 連結損益計算書(要旨)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位:百万円)

区 分	金 額
売上高	568,032
営業利益	29,897
経常利益	30,650
税金等調整前当期純利益	29,237
当期純利益	20,635
親会社株主に帰属する当期純利益	19,097
減価償却費	16,155
研究開発費	1,986
<b>1株当たり当期純利益</b>	<b>142円23銭</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位:百万円)

区 分	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,749
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>17,076</b>

社名 株式会社ニチレイ

所在地 〒104-8402  
東京都中央区築地六丁目19番20号  
ニチレイ東銀座ビル

設立 1942年12月\*

役員	代表取締役会長	村井利彰
	代表取締役社長	大谷邦夫
	取締役執行役員	田口巧
	取締役執行役員	金子義史
	取締役執行役員	大楠顕也
	取締役執行役員	川崎順司
	取締役執行役員	梅澤一彦
	社外取締役	鷓澤静
	社外取締役	鰐淵美恵子
	社外取締役	昌子久仁子
	常勤監査役	滋野泰也
	常勤監査役	安田一彦
	社外監査役	齊田國太郎
	社外監査役	岡島正明
	社外監査役	長野和郎
	執行役員	宇田川辰雄
	執行役員	三木一徳
	執行役員	武永正人
	執行役員	狩野豊

会計監査人 新日本有限責任監査法人  
東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル

\*前身の帝国水産統制株式会社の設立年月  
1945年12月 日本冷蔵株式会社に改組

発行可能株式総数 ..... 360,000,000株

発行済株式総数 ..... 139,925,532株  
(うち自己株式 6,655,050株)

単元株式数 ..... 100株

株主数 ..... 20,248名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	15,221	11.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	12,288	9.2
日本生命保険相互会社	5,744	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,866	3.7
株式会社みずほ銀行	3,813	2.9
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,799	2.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,765	2.1
株式会社日清製粉グループ本社	2,719	2.0
農林中央金庫	2,675	2.0
第一生命保険株式会社	2,323	1.7

(注) 1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
2.持株比率は、自己株式(6,655千株)を控除して計算しております。  
小数点第二位で四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京(第一部)
証券コード	2871
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告により行います。公告掲載場所は当社ホームページhttp://www.nichirei.co.jp/とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に 公告を掲載します。

上場株式等の配当等に係る税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る  
軽減税率が廃止されており、今回の第100期期末配当金の  
税率は本則税率となります。また、2037年12月31日までは、  
復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた  
金額が課税されます。具体的な税率は下表をご参照ください。

■上場株式等の配当等に係る税金と税率

	2037年12月まで	2038年1月以降
所得税	15.315%	15%
復興特別所得税		-
住民税	5%	5%
合計	20.315%	20%

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を  
有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますので  
ご注意ください。

※詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。

株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新IRニュース、最新の決算発表情報をご覧いただく  
ことができます。また、個人投資家向け情報サイトでは、  
個人投資家説明会時の決算資料をはじめ、ニチレイ  
グループのことをわかりやすく紹介しています。

●ニチレイメーリングサービス

ニチレイWebサイトの更新情報や新商品の情報を、電子  
メールでも受け取ることが可能です。登録は無料ですので、  
どうぞご利用ください。

<http://www.nichirei.co.jp/ir/>



個人投資家向け  
情報サイトへは、  
こちらから  
アクセス可能です。